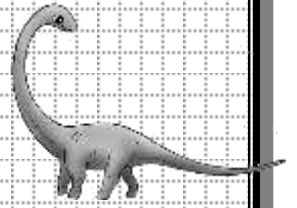


2011年1月

地質 — No. 2

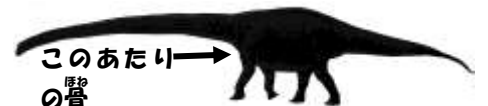
けんぱくものしりシート

# モシリュウ



この化石は、モシリュウという恐竜の左前脚、肩と  
ひじのあいだの骨の一部です。

この化石が見つかったのは、



今から33年前、1978年の夏のこと。場所は岩手県の沿岸、  
岩泉町の茂師というところ。そのあたりには「宮  
古層群」(\*)とよばれる中生代前期白亜紀(1億1000万  
年ほど前)の地層があり、そこから見つかりました。実

は、このモシリュウの化石が、日本でいちばんはじめに  
発見された恐竜の化石なのです。それまで日本では、

恐竜は出ないだろうと考えられていましたが、モシ  
リュウが見つかったことをきっかけに、日本の色々な場

所で恐竜の化石が発見されるようになりました。

モシリュウの化石は、うで的一部分しか出ていないので、残念なことに全身  
がどのような姿であったかは分かりませんが、研究した結果、「マメンキサ  
ウルス」という恐竜にとてもちかい仲間であることが分かりました。そこ  
で、岩手県立博物館では、マメンキサウルスの全身骨格を展示して、大きさ  
を感じながらモシリュウの姿を想像してもらうことにしました。

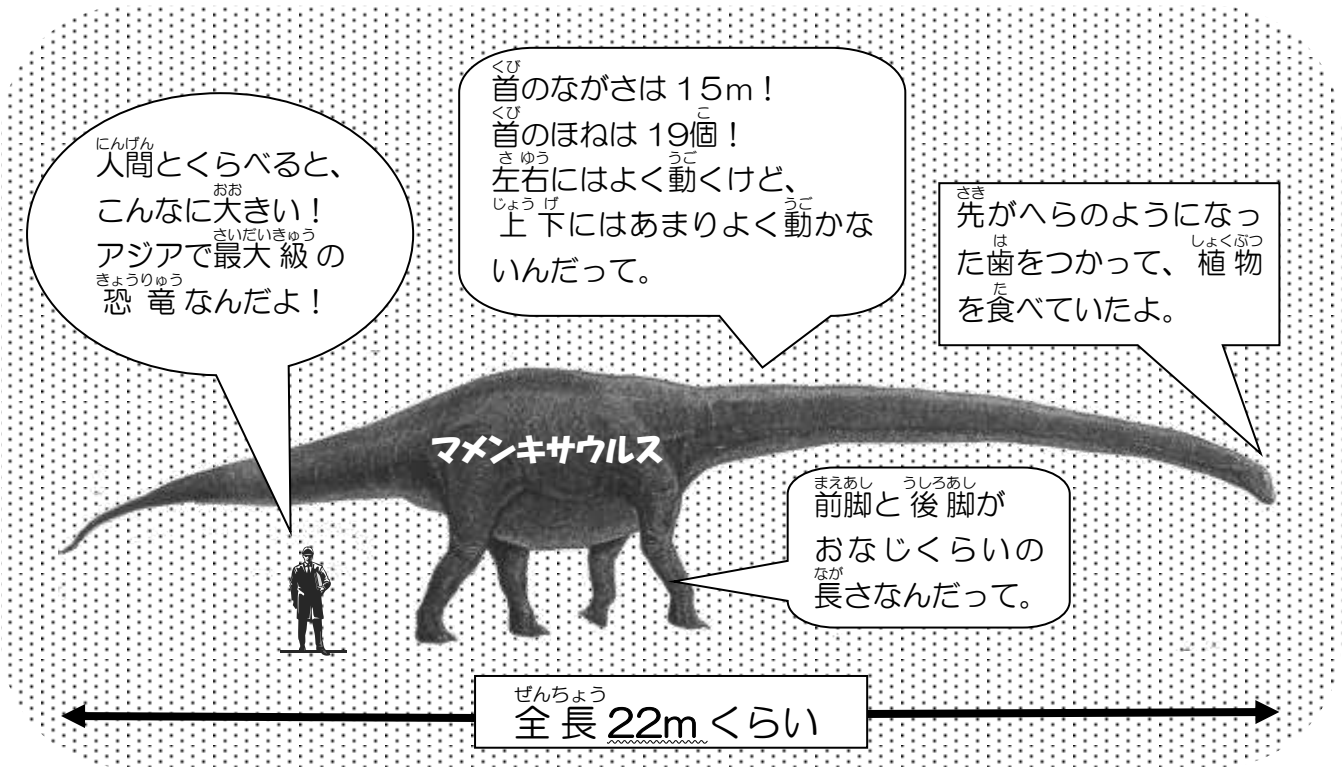
## ※ 宮古層群 ※

アンモナイトやオウムガイなど、500種類もの海の生きもの  
の化石が出ていますよ！展示室には、宮古層群からみつかった化石  
がいくつも展示してあるので、さがしてみよう！



さて、それではマメンキサウルスはいったいどんな恐竜きょうりゅうだったのでしょうか？少し紹介しょうかいしましょう。

マメンキサウルスは、モシリユウよりもさらに少しすこ古い、中生代後期ちゅうせいだいこうジュラ紀き（1億5000万年ほど前まへ）の中国ちゅうごくにいた恐竜きょうりゅうです。発見された地名はっけん（馬門ちめい溪まめん）から「マメンキサウルス」（マメンシーのトカゲ）と名づけられました。



こんなとほうもなく大きな恐竜おお きょうりゅうが、のしのしと歩き回ある まわっていたそのころの岩手の光景いわた こうけいはどんな風ふうだったのでしょうか。みなさんもぜひ、マメンキサウルスの全身骨格ぜんしんこつかくを見ながら、想像そうぞうしてみてくださいね。

参考さんこうにした本ほん『21世紀せいき子ども百科ひゃっか 恐竜館きょうりゅうかん』小学館しょうがくかん 2007年ねん/『なるほどkids 日本全国にほんぜんこく 恐竜きょうりゅうに会いに行こう！』昭文社しょうぶんしゃ 2007年ねん ほか

らいげつ がつ  
来月（2月）の  
けんぱくものしりシートは  
こうこ  
考古-2だよ！  
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>